

第14号
「PMFを応援する会」会報
協奏
2015年9月18日

—PMF2015を終えて—

(公財)PMF組織委員会理事長 上田 文雄

PMFを応援する会の皆様方には、長年にわたりPMFを様々な形で応援して頂き感謝と心からの敬意を表させていただきます。おかげさまでPMF2015は無事かつ成功裏に終了できた事、共に喜びたく存じます。



ご承知の通り今年のPMFは組織委員会にとり前25回とは全く異なる緊張感あふれるものとなりました。それは創設期から前回PMF2014までの野村グループをはじめとするグランドパートナーズとしての支援が終了し、新たなメインスポンサーによる再出発の年となったからです。これまでのグランドパートナーズ企業各社のご支援に感謝しながら、存続の危機に直面して新たなスポンサーを探すことは並大抵のことではなく、苦渋に満ちたPMFの1年でした。しかし25年にわたるPMFの歴史とその意義、更にはその役割などの精力的説明活動の結果、文化庁のご理解を頂けたこと、メインスポンサーとして多くの企業のご支援が実現しました。まだまだ安定的財源確保の努力は必要ですが2016以降も質量ともに従前どおりの音楽祭の開催見通しが立ちました。



今回のトピックスは何とんでも、芸術監督に世界のゲルギエフ氏を迎えることに成功したことでしょう。アカデミー生はもちろん聴衆にとっても満足的な「教育音楽祭」となりました。

前々回2004、前回2006の時より更に超多忙となったマエストロの日程確保は益々困難となり、指導時間確保の課題はあるにしても、その魅力は計り知れぬものがあります。ガラ・コンとピクニックコンサートで「PMF賛歌」を歌う会場の聴衆に向けゲルギエフ氏が笑みを浮かべながら指揮をする姿は、札幌の夏を飾るにふさわしい映像だった。

「教育音楽祭」はアカデミー生に対する教育の場であるばかりではなく、私たち札幌市民を中心とする聴衆が音楽を楽しみ、心を豊かにするための教育を受ける「祭り」でもあります。この音楽祭が末永く発展してゆくため、多くの市民の皆様方との「協奏」の輪が広がりますことを心から念じます。



ピクニックコンサートで会いましょう

★8月2日(日) 11:00~15:00
★芸術の森アートホール ロビー
★参加数およそ 100人

皆さまとPMFのことを話したい・・・と
ピクニックコンサートの日に

にわか喫茶・カフェサロン（代金は無料ですが、お気持ちを募金箱に入れていただきました）を
2010年から開いています。今年のお立ち寄りいただいた方々のスナップ写真とメッセージです。
お茶を飲みながらの交流、来年はあなたもどうぞお越しください。
芸術の森スタッフの皆さんのご協力に感謝いたします。



来場者は約100人、
バーンスタインもお迎えしてくれます。



お菓子とコーヒーは如何？
外は暑いから休んでいってね♡



シフォンケーキも
美味しそう！



一番若い来場者…かな。
もうじき2歳になるんだって！



意見交換中…。
サッポロの思い出いっぱい
アカデミー生です。



ピクニックコンサートの
ステージがこんなに緑に囲まれている
なんて… 驚き！
東京から来て良かったです。

メッセージ

Dear Sapporo,

I am thankful for everything
this city has provided me this
summer. Thanks for all the
Love Sapporo!!



敬愛する サッポロ、
すべてに感謝します。
サッポロは私に今年の夏を与えて
くれました。
サッポロにすべての愛をもって
感謝!!

ダニエル・ワン
(ヴィオラ)



ダニエル・ワン
Daniel Wan
(ヴィオラ)



クリストーベン・ジェラルド・タン (ヴィオラ)



クリストーベン・ジェラルド・タン
Christoven Gerard Tan
Singapore

Dear Sapporo!
Thanks a lot for everything!
I will remember you ~~and~~
and always be thankful!
You are Lucky, you Live in this
beautiful city.

With Love,
Sofia Vitland (Flute)
Saint-Petersburg, Russia



親愛なる サッポロ！

すべてのこと、本当にありがとうございました。
ございます。

私は皆さまのことを忘れません、
そして、いつも感謝します。

こんな美しいまちに住んでいる
あなたはラッキーです。

愛をもって、

ソフィア・ヴィランド（フルート）
サンクトペテルブルグ、ロシア



北海道大学合唱部の皆さん・・・ガラコンサート、ピクニックコンサートに出演 ♪

小林誠和： 海外の様々な地域から集まってきた若者の音楽家の方たちと一緒に演奏できてとても楽しかったです！

杉江祐哉： オーケストラとの共演は迫力があって、演奏者側ではありましたがとても感動しました！

問谷一偉： PMFという、大規模な音楽の祭典が地元で行われること自体嬉しいのに、自分がそれに参加できて光栄です。また参加できる機会があれば是非参加させて頂きたいです。

宮下 仁： オーケストラとの共演という貴重な体験をさせていただけて光栄です。



ベンジャミン・チェン
Benjamin Chen
USA

Hi Sapporo!

It was so wonderful to live and perform in your city during PMF 2015. Your enthusiasm and support for what we do is so encouraging. I hope I will return to your beautiful city in the future!
Benjamin Chen 8/2/2015 Clarinet

こんにちは さっぽろ！

PMF 2015の間、あなたたちの街で過ごしたこと演奏したことは本当にすばらしかった。
あなたたちの情熱とサポートはとても励みになりました。

私は将来この美しい街に戻ってきたい。 ベンジャミン チェン 2015年8月2日 クラリネット



デイヴィッド・ユーン
David Yoon
USA

Dear SAPPORO

Thank you for your love and support. We really enjoyed our time here in this beautiful city. Thank you for letting us trying on Kimonos. It was one of my favorite experiences here. Will miss you very much.

Love, David Yoon Percussion

親愛なるサッポロ、あなたの愛と支援に感謝します。私たちは本当にこの美しい街で楽しみました。
着物を着せてくれてありがとうございました。着物を着たことは大好きな思い出の一つです。
とっても寂しい。 Love、デイヴィッド・ユーン パーカッション

* 着物はPMFホラティア「ハモニ」の日本文化体験プログラムとして毎年大好評です。

▶ Timpani / Percussion



橋本 紗瑛
Saito Aoi
Japan

Thank you for all the great work and care. We had all awaiting time in Sapporo.

すばらしい一月をありがとうございました。
一生わすれない思い出ができました。

札幌でPMFがずっと愛されますように！

橋本 紗瑛 パーカッション

★ メッセージを紙面ではご紹介できませんでしたが、カフェ・ディ・レニー（P6、発行欄住所参照）で閲覧できますので是非お立ち寄りください。

★ 北星学園大学附属高等学校吹奏楽部の皆さんともチョッピリ交流しましたね、PMFに参加した感想も聞きたいです。

★ PMF2016で会いましょう！

ゲルギエフファンの私は、ついに憧れのPMFコンサートまで追いかけてきてしまいました。世界中から集まった若き演奏家たちのひたむきな演奏に感動。初め、あんなに緊張して楽器を構えていたのに、ひと度ゲルギエフの指先が震えると、ひとりひとりの固いつぼみに命が吹き込まれ、次々に競って花々が咲き始め、たちまち、ロッシーニやモーツァルトの世界に彩られていく。初々しさに深みが加わり昇華されていく演奏を目の当たりにして、ほんと鳥肌が立ちました。

そう、ここまでは東京でも体験できます。でもここ札幌に来なければ決して味わえなかった醍醐味！それは翌日のピクニックコンサートです。あのたくさんの人々。子どもたちとの家族連れが普通に音楽を楽しんでいる。一曲が終わると、子どもたちは虫捕りに草や木の間を走りまわる。でも次の曲が始まる頃には、ちゃんと戻ってきて聞いている。私の隣では、草の上で赤ちゃんがすやすや。太陽の動きに合わせて、手と手を取り合って日陰に移動する老夫婦。なんとほほえましいこと。

東京で「親子連れ」といったら～ランドとかアニメのキャラクターの出でくる商業的なイベントに列をなして押しかける光景ばかり。それにひきかえ、あの 芸術の森には何千人来ていたのでしょうか？札幌の市民のレベルの高さに驚いています。といっても決して気取っている訳でもなく、演奏中あっちで子どもが泣いていても、思い思いの楽しみ方をしているので気にもならない。夕方になればカラスまでが唱和している。

なんと美しい自然との融合。昨日のガラ・コンサートでは、倒れてしまうのではないかと思われるほど精魂込めてラフマニノフを弾いてくれたあのロシアの若きピアニストも、今日の演奏を終えた後は、聴衆のひとりとなって私たちのすぐそばで夕日を浴びながらゲルギエフの指揮に見入っている。札幌限定でしょう。演奏する人もPMFを支える人たちも、ゲルギエフまでが同じPMFT シャツで素敵でしたね。心はひとつ。

市民もお客さんではなく、コンサートの創り手でした。ガラ・コンサートは限られた空間と限られた人数の中で、それは崇高ではある。でも野外では全員が伸び伸びと演奏している。市民もこの日を楽しみにしている。お互いの信頼感も尊い。25年の歴史の重みを感じます。そして、ホルストのジュピターの全員合唱は最高ですね。

世界平和を願って残りの時間を捧げたバーンスタインの意志をしっかり受け継いで、これからのPMFの発展を寿ぐかのようにでした。PMFはまさに平和の泉ですね。

きっと世界中から潤いを求めてひとり又ひとり集まってくるでしょう。来年も大空にこの賛歌が響いてほしい。

「大いなる夢受け継ぎ、とこしえに～

胸を打つこの響きよ、喜びよ、美しき翼ひろげ、大空へ」
まだ耳から離れません。

PMFを支えてくださっている方々にあらためて「ありがとう！」といわせてください。幾千人分の感謝をこめて。

PMF 2015が終わって

苫小牧PMFボランティア友の会
PMFを応援する会フェロー 高橋 徹

PMF 2015が終わりました。期間中、私は10公演ほど聞かせていただき沢山の感動をもらいました。

一方、私がボランティアとして関わっているPMF苫小牧公演も今年で24回目を迎え、今年の夏はPMFアメリカの方々をお迎えし、会場をほぼ埋め尽くした聴衆は世界一流の演奏に魅了されていました。中でも、苫小牧では演奏される機会が少ないピアノと木管楽器の曲が中心とあって、生の演奏を聞こうと中学校のブラスバンド部員が多数来場していたのも嬉しい限りでした。

ただ、演奏中、楽章と楽章の間に拍手が入り、せっかくの音楽の流れが中断してしまうと、一部の人から主催者に苦情が

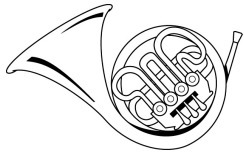
入ったそうです。

その話を聞いて、私たち苫小牧のボランティアはできるだけ多くの人に演奏曲目の魅力を事前に知っていただくとうと、勉強会を開いたのですが、効果を上げなかったのだな、と反省しているところです。

私はPMFがアカデミー生たちを育成すると同時に聴衆を育てる役割も持つ教育音楽祭ではないかと思っています。今後、勉強会や演奏会の開催方法など「PMFを応援する会」の皆さまのご指導をいただきながら来年のPMF苫小牧公演が「協奏」となるよう、これからも努力していきたいと思います。

竹津宜男の思い出を語る会 報告

PMFを応援する会会長代行 鈴木 敏明



当会の会長竹津宜男氏が亡くなって一年、PMF開幕を目前にした6月28日「竹津宜男の思い出を語る会」が思い出深い札幌パークホテルで開催されました。

これには、当会が竹津夫人から依頼を受け、役員が一丸となって準備に当たりました。亡き氏にゆかりの多くの方々にお集まりいただき、彼の札幌の芸術文化のみならず多くの分野に残された偉業に思いを馳せ、懐かしむという企画でした。

沢山の花々と生前に愛用された品々を前に、竹津氏の長年にわたる活動の軌跡を映像やエピソードでたどりながら、特にお好きだった曲を関係のあったアーティストに演奏していただき、まるでその場に故人がいるかのような一瞬をご参集の皆様感じていただけたと思います。

最後にホルンを演奏する映像に合わせてみんなで歌った「虹と雪のバラード」では全員が涙に咽ぶ場面もありました。

この会を成功裏に終えられたのは、当会のチームワークもさる事ながら、竹津宜男氏への深い愛情と大いなる尊敬の念をお持ちの竹津夫人とご家族の熱い想いの表れだとしみじみ思います。

最後に、この回の開催に多大なご理解を示して、ご協力くださいました石田泰子様と札幌パークホテルのスタッフの皆様、そしてご参加くださいました皆様に深く感謝申し上げます。

それにつけても、竹津宜男氏を失ったことの心の穴はふさがりそうもありません。



◆ 竹津宜男の思い出を語る会・プログラムに掲載されました「ご挨拶」を抜粋してお届けします。◆

～ ごあいさつ 竹津 香苗 ～

昨年7月5日本当に突然の別れでございました。

竹津は1961年札幌交響楽団の創立楽団員のホルン奏者として札幌市民となり、53年。

私は1965年広島から嫁いで参り、49年と2ヶ月の結婚生活でございました。

音楽に包まれながら、共に過ごしました50年、開拓者のようにエネルギーに行動する竹津のそばで私も同志のような気持ちで、過ごして参りました。

今、いろいろな想いがよぎります。

「札幌の美しい音色を伝えるホールが欲しい」と市民運動を起し、100円募金運動を始め、チラシ撒きをし、皆様の大きなお力添えを頂き、完成したキタラ。

竹津は良く申しておりました「夢は口に出して言うと叶うものだ」。キタラの完成時、バックヤードを案内してくれました折のあの嬉しい、嬉しい笑顔が浮かびます。

そして私は今、自分自身で勝手に思います。「キタラには竹津の夢がいつまでもまっている」と。キタラに行くと今でも竹津に会えるような気がします。

2012年、札幌芸術賞受賞時の竹津の挨拶の中で、「私の札幌への想いはまだ続きます」と申しております。札幌を愛し、札幌を思う気持ちが全ての行動の原点にありました。

その想いが、その後のいろいろな活動へと続きました。いつも誠実で真摯に向きあっておりました。キタラと同時に思い描いていた新しいホールはあと三年で完成します。そのホールで二人でオペラを楽しむ時を持てなかったことが何より心残りです。

皆様からの募金をお届けしました



6月1日、PMF組織委員会を訪ね上田文雄理事長（前札幌市長）に皆さまからお預かりしている浄財70万円をお渡しいたしました。

上田理事長からは、皆様の思いが詰まったこの浄財をより身近な音楽祭にするための普及活動などに大事に使わせていただきたいとお話でした。

また、組織委員会から「PMFを応援する会」に感謝状をいただきました。感謝状はカフェ・ディ・レニー（当会事務所、南区常盤4条2丁目17-13）にこれまでの感謝状と共に掲示されています。

いまや世界三大教育音楽祭に数えられるまでに成長したPMF、我々の財産であるPMFを一層発展させるため今後とも皆様の変わらぬご支援を重ねてお願い申し上げます。（PMFを応援する会 近藤崇）



♪ PMFを応援する会 2015 第3回カフェ・サロン ♪

*** 秋のニドムを楽しむミニツアーのご案内 ***

～バーンスタインの思い出に浸りながら～

毎年ご好評いただいているバーンスタインを偲ぶ「ニドムツアー」を今年は10月22日（木）に計画いたしました。秋のニドムと美味しいランチ、そして素敵なお演奏をお楽しみ下さい。

集合場所：地下鉄大谷地駅1番出口（地上）

集合時刻：9：45（10時出発）

解散時刻：15：00（予定） 地下鉄大谷地駅

内 容；コンサートとミニトーク（バーンスタインメモリアルホール）

♪ アンサンブルグループ「奏樂」のメンバーの皆さんによる演奏

* 岩崎 弘昌（札幌交響楽団副主席オーボエ奏者）

* 前田 朋子（ピアノ）

* 川島 沙耶（ソプラノPMFチェンバープレーヤー）

♪ レストラン・ランチ（ニククル）、園内散策

参加費：4,000円（バス代・ランチ代を含む）

申し込み：FAX:011-827-5181（締切10/17又は定員60名に達した時）

* 当会HP・ご案内チラシを参照願います *

〈 編集後記 〉

今年のPMFで、とっても良かったプログラムがあったのよ…とPMFが大好きで札幌に居を移したご夫妻が笑顔で伝えてくれた。PMF2015が始まる前は心配もあったけれど、あのコンサートはとってもお得だったの！とPMFならではの出演者や演奏を褒めてくれた。

ウィーンフィルの先生はじめ教授陣とキタラや芸術の森ですれ違い挨拶もする、この近さも嬉しい。もちろんアカデミー生とも話す機会があって嬉しい。

昔、芸森で開催されたミニトークで歌を聴いた。歌い手の声が振動として身体を通り抜けていった。音は振動だと実感した日だった。生の音楽に触れる機会は多いほどいいと思う。（あ）



発行 「PMFを応援する会」

〒005-0854

札幌市南区常盤4条2丁目17-13

「カフェ・ディ・レニー」内

FAX専用：011-827-5181

ホームページ

<http://pmf-support.main.jp/>

フェイスブック

www.facebook.com/much.love1990pmf.sapporo

印刷協力 株式会社マルシン